

2026年度大学院博士前期課程一般入学試験（第Ⅲ期）問題

研 究 科 名	科 目 名
文学研究科 人文学専攻 哲学歴史学専修	専修共通問題

哲学を専攻する者は、以下から4つの用語を選択し、その用語について150～300字程度で説明しなさい。なお、選んだ問題の番号をそれぞれの解答の最初に記すこと。

- ① 徳 (aretē)
- ② 論理実証主義
- ③ 意義 (Sinn、フレーゲ)
- ④ 分析的判断
- ⑤ ピュロン派懐疑主義
- ⑥ 殺すことと死ぬにまかせること (killing and letting die)
- ⑦ 必然性
- ⑧ ア・ポステリオリ

歴史を専攻する者は、以下から4つの用語を選択し、その用語について150～300字程度で説明しなさい。なお、選んだ問題の番号をそれぞれの解答の最初に記すこと。

- ① アレクサンドル1世
- ② 神聖同盟
- ③ マフムト2世
- ④ カスル・キル (コンスターティノーブル) 条約 (1832年)
- ⑤ カピチュレーション
- ⑥ ウンキヤル・スケレッシ条約 (1833年)
- ⑦ 英土通商条約 (1838年)
- ⑧ ムハンマド・アリー

解答または解答例：
Sample Answer(s) or Outline:

出題意図：
purpose of Questions：

【哲学】
<出題の意図>
大学院における哲学及び哲学史研究のために必要な基礎的な知識（古典的な論題も現代的な論題もどちらも含む）の習得度を測ることを意図している。
<採点のポイント>
問われている論題について、（1）関連する事象や哲学上の問い（哲学史上の問いや現代的な哲学的論点）と結びつけつつ、（2）明瞭な説明ができていないか否か。

【歴史学】

＜出題の意図＞

大学院博士前期課程の歴史学研究において求められる基礎的知識（用語や概念）の習得度を測るとともに、それらを具体的かつ明快に説明する能力を十分に備えているかを判定する。

＜採点のポイント＞

- ① 史実や通説等の正確な理解にもとづいた説明であるか。
- ② 具体的かつ明快な説明であるか。